

家 庭 科 学 習 指 導 案

6 年 3 組 28 名 指導者 岡 元 照 代

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 快適な着方をするために、手洗いを中心とした洗濯の仕方を理解することができるようにするための手立てとして、具体的な観点と体験的な活動をもとにした意見交換は、効率的であったか。

1 題 材 衣服を整えよう「めざせ、手洗い洗濯マスター！」

2 指導計画（総時数 7 時間）

過程	主 な 学 習 活 動【評 価 規 準】	時間
つかむ	1 衣服を着る目的や衣服の働きについて考える。 【関：衣服の働きに関心を持ち、快適な着方について考えようとしている。】 「家庭生活調べ」を行い、家庭生活から自分の課題をもつことができるようにする。	1
見通す	2 季節に応じて気持ちよく健康に過ごすための衣服の着方を考える。【養護教諭との T T】 【創：気温の変化や活動の目的に応じて日常着の着方を工夫している。】 養護教諭との T T を行い、健康的な衣生活について考えることができるようにする。	1
調べる・確かめる	3 衣服の汚れ方と清潔な手入れの仕方を調べ、洗濯実習計画を立てる。 【知：日常着の手入れの仕方を理解している。】 4 洗濯の仕方や汚れの落とし方を調べ、衣服の洗濯をする。〈一人実習〉 【技：手洗いを中心とした洗濯ができる。】 5 洗濯の仕方や汚れの落とし方を紹介する。 【知：手洗いを中心とした洗濯の仕方を理解している。】 具体的な観点と実践的な活動を通した意見交換を行い、子どもが主体的に活動し、家庭生活への実践意欲を高めることができるようにする。	1 2 1 (本時)
生かすに	6 家庭での涼しい着方の実践発表会をする。【創：快適な着方を工夫している。】	1

3 本 時（7 / 8）

(1) 目 標

洗濯の仕方や汚れの落とし方を調べ、衣服の洗濯の仕方を理解することができるようにする。

(2) 評価規準

手洗いを中心とした洗濯の仕方を理解している。

【家庭生活についての知識・理解】

(3) 指導にあたって

本時の学習は、自分の衣生活に関心を持ち、季節に応じて快適に過ごすために、衣服が汚れたら洗濯する必要があることや手洗いの洗濯法を理解することができるようにするために、実践的な体験をもとにした意見交換を行う。

「つかむ・見通す」過程では、日常着の汚れ方や汚れの問題点について確かめる活動を行う。日頃の衣生活を思い浮かべながら発表したり意見交換したりする活動を通して、友達に自信をもって自分の洗濯方法を紹介するという課題を把握することができるようにする。

「調べる・確かめる」過程では、自分の洗濯方法を比較実験した結果をもとにし、ワークシートや使用した道具等を使って実演しながら分かりやすく説明する活動を行う。さらに、意見交換を通して、自分雄やり方と比較したり、「今度は、他の方法でもやってみよう」といったような家庭での実践の幅を広げたりすることができるようにする。最後に、教師が手洗い洗濯の必要性や品質に応じた洗濯の仕方、環境への配慮の仕方等についての説明を行い、手洗いを中心とした洗濯の仕方についての理解を深めることができるようにする。

時	過程	主な学習活動と教師の手だて・評価											
(分)													
7	つかむ・見通す	1 日常着の汚れの場所や衣服が汚れたときの問題点を確かめる。 ・えりが茶色く汚れて、少し臭かった。 ・靴下のかかととは、泥で黒っぽくなっていた。 ・汚れた衣服は、着心地がよくない。 手洗い洗濯（汚れの落とし方）の技を紹介しよう。～劇的ビフォーアフター～ 2 発表の仕方を確認する。 (1) 洗濯法 ・道具（板など）や洗い方（もみ洗い） (2) 工夫したことなど	「家庭生活調べ」から、汚れ方の実態を振り返らせ、快適な着方に洗濯が欠かせないことを確認し、自分の学習課題を把握することができるようにする。 「自分の洗い方」と「そうでない洗い方」を比べるなどの比較実験を行い、洗い方のよさがより明確に分かるようにする。 具体的な観点を示したワークシートや使用した道具等を使って実演するなどして分かりやすい説明を行うことで、主体的に活動できるようにする。										
17	調べる・確かめる	3 汚れや臭いの落とし方を紹介し合い、意見交換をする。<table><tr><th>方 法</th><th>手 洗 い の 仕 方</th></tr><tr><td>洗剤</td><td>粉末洗剤と洗剤なしで汚れ落ちを比べる。</td></tr><tr><td>ぬるま湯</td><td>水と風呂の残り湯（ぬるま湯）を比べる。</td></tr><tr><td>もみ洗い</td><td>もみ洗い法を確かめる。</td></tr><tr><td>道具</td><td>・使い古しの歯ブラシや洗濯板などを使用する。</td></tr></table> 4 意見交換で分かったことをまとめる。 ・〇〇さんは、水ではなくお風呂の残り湯を使って節水しているな。 ・ぼくは「もみ洗い」だったけど、他にも色々な洗い方があるんだな。 5 汚れや臭いの落とし方を知る。 ・衣服（洗う場所）の品質 ・品質に応じた洗い方 ・洗剤の種類と取り扱い方（環境への配慮の仕方など） 6 活動を振り返る。 快適な着方をするには、汚れの種類や衣服の品質を知り、汚れや衣服に応じた洗い方をすることが大切だ。 <td> ※ 手洗いを中心とした洗濯の仕方を理解している。（発表・ワークシート） ○ まとめることができた子どもには、友達の発表を聞いて、他の汚れの落とし方を考えるよう助言する。 ○ 戸惑っている子どもには、「どんな道具を使っていたかな。」など、具体的な観点到に沿った個に応じた支援をする。 教師が具体的な資料を提示し、子どもが実感を伴って理解することができるようにする。 布地を傷めない洗い方や環境への配慮の仕方についても説明し、適切な洗濯の仕方の理解を深めることができるようにする。 </td>	方 法	手 洗 い の 仕 方	洗剤	粉末洗剤と洗剤なしで汚れ落ちを比べる。	ぬるま湯	水と風呂の残り湯（ぬるま湯）を比べる。	もみ洗い	もみ洗い法を確かめる。	道具	・使い古しの歯ブラシや洗濯板などを使用する。	※ 手洗いを中心とした洗濯の仕方を理解している。（発表・ワークシート） ○ まとめることができた子どもには、友達の発表を聞いて、他の汚れの落とし方を考えるよう助言する。 ○ 戸惑っている子どもには、「どんな道具を使っていたかな。」など、具体的な観点到に沿った個に応じた支援をする。 教師が具体的な資料を提示し、子どもが実感を伴って理解することができるようにする。 布地を傷めない洗い方や環境への配慮の仕方についても説明し、適切な洗濯の仕方の理解を深めることができるようにする。
方 法	手 洗 い の 仕 方												
洗剤	粉末洗剤と洗剤なしで汚れ落ちを比べる。												
ぬるま湯	水と風呂の残り湯（ぬるま湯）を比べる。												
もみ洗い	もみ洗い法を確かめる。												
道具	・使い古しの歯ブラシや洗濯板などを使用する。												
13													
8	生活に生かす	7 今までの自分と比較し、これから家庭で実践したいことを考える。 ・今まではそのまま洗濯機に入れていたけど、手洗いしてから入れよう。 ・今度は、〇〇さんの方法で、家で手伝いをしてみよう。	今までの自分を振り返り、できるようになりたいことを考える活動を通して、家庭生活での実践意欲を高めることができるようにする。										